

令和8年度 第2回学術講習会

(公財) 東洋療法試験財団生涯研修認定講座 (各2点)
(公社) 全日本鍼灸学会認定指定C講座 (各1点)

安心して心身をゆだねてもらえる
鍼灸師になるために

— 患者を支える観察力と臨床力 —

2026
9.6 sun
13:00~16:10

《会場》 兵庫県鍼灸師会館2階

兵庫県神戸市中央区山本通2-14-31

最寄り駅：阪急神戸三宮駅・JR三ノ宮駅 徒歩約10分

《定員》 会場 40名・オンライン40名

アーカイブはございません。

当日、会場・オンラインにてリアルにご参加ください！

《受講料》 本会会員 1,000円
準会員* 1,000円
日本鍼灸師会会員 3,000円
全日本鍼灸学会会員 3,000円
一般 5,000円 / 学生 2,000円

準会員*: 鍼灸学校の学生・専任教師・免許取得後3年以下の鍼灸師で
(公社) 日本鍼灸師会に準会員登録されている方。

《申込フォーム》

8月31日(月)正午まで

準会員登録希望の方も

フォーム内のURLから登録可能！



第2回学術講習会

問合せ先: 一般社団法人 兵庫県鍼灸師会

✉ hyogo.am@gmail.com

☎ 078-231-1189

〒650-0003 兵庫県神戸市中央区山本通2-14-31

— 第1講座 —

13:00~14:30

「地域で患者さんを共に支えるために」

— 総合診療医と鍼灸師が共有したい視点 —

神戸大学医学部附属病院

総合内科

特定助教 **官澤 洋平** 先生

かんさわ ようへい



官澤先生からのメッセージ

総合診療では「いつもと違う」を見つけることが重要です。本講演では、特に呼吸を含めたバイタルサインの見方や受診を検討すべきレッドフラッグ、そして地域で患者さんを支えるための連携について、日々の実践を交えながら共有したいと思います。

講演では、総合診療医の立場から、診察で把握していただきたいバイタルサインや身体所見、特に見落とされやすい「呼吸」の重要性についてお話ししたいと考えております。また、医療機関への受診を検討すべきレッドフラッグに加え、日頃から顔の見える関係を築き、お互いを名前で紹介できるような連携のあり方についても一緒に考えられればと思います。

私自身、慢性疼痛や倦怠感など、西洋医学だけでは十分な改善が難しい患者さんに出会うことも少なくありません。そのような場面では、鍼灸師の先生方のお力をお借りしたいと感じることが多くあります。お互いの専門性を尊重し、それぞれの強みを生かしながら地域で患者さんを支えていくための実践的なお話ができれば幸いです。

【ご略歴】

2011年3月に東北大学を卒業後、神戸市立医療センター中央市民病院で初期研修・後期研修（総合診療科）を修了。

研修後は明石医療センター総合内科にて病院総合診療医（Hospitalist）として勤務し、病院の現場で高齢者診療に携わる。

誤嚥性肺炎や心不全など、在宅療養と密接に関わる疾患を中心に、急性期から慢性期までの診療を経験。

2025年4月より神戸大学医学部附属病院総合内科に着任。

現在は、病院と地域、在宅と入院医療のあいだをつなぐ「橋渡し役」としての総合診療医の役割を大切にしながら、地域で在宅医療に取り組む医療従事者の皆さんと顔の見える関係を築き、連携を深めることに力を注ぐ。

病院にいながらも、在宅の現場で感じる困りごとや違和感を共有し、ともに考え、支え合える関係づくりを目指す。

— 第2講座 — 実技供覧

14:40~16:10

「腰痛・腰下肢症状に
対する鍼灸治療」

～基礎的・臨床的研究を踏まえて～



宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科
教授・学科長 **井上 基浩** 先生

いのうえ もとひろ

井上先生からのメッセージ

日々の臨床で遭遇する機会の多い、腰部障害に起因する腰下肢症状に対する鍼灸治療について、基礎・臨床研究により新たに開発した治療法を解説します。一部については実技供覧を予定しております。

【ご略歴】

現、神戸大学（海洋政策科学部）中退後、

明治鍼灸大学（現：明治国際医療大学）および大学院（修士課程）を卒業、

その後、博士号（鍼灸学）を取得し、同大学および大学院教授を経て現在に至る。

【研究業績・研究テーマ】

運動器系疾患・症状に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究（運動器系機能回復学）に関する論文（国際誌・国内誌）・著書多数。